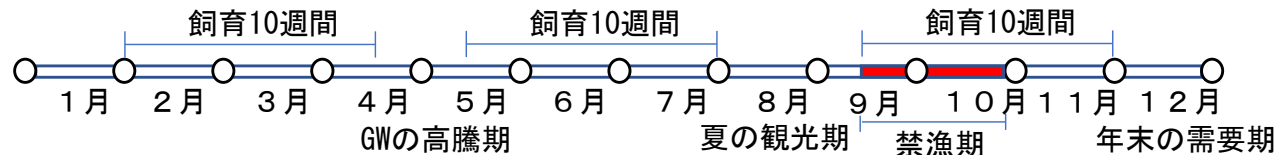


2 ウニ養殖について

(2) 市の施策について

1. 試験の概要

- 目的：実入り不良のウニ（エゾバフンウニ・キタムラサキウニ）にエサを与え、通年（年3回）の出荷に向けた養殖試験に取り組み、事業性を評価する
- エサ：北海道大学や民間企業で開発した配合餌料と間引きコンブやガニアシなどの天然餌料によりそれぞれ飼育し、コストや色、味のほか歩留まり等を比較する
- 場所：コンブ養殖施設を利用した海中飼育を行い、潮の流れが速い津軽海峡での養殖が可能かどうか検証するとともに、陸上で水槽飼育を行い、コストや斃死数などを比較する



2. 陸上試験

- 実施方法：漁業協同組合へ委託
- 実施場所：市ウニ種苗センター（戸井または恵山地域）
- 必要物品：飼育籠、水槽
- エサ：配合餌料（海藻ペレット）
（飼育10週間でウニ1kgに対し1kgのエサが目安）
：天然餌料（養殖コンブの間引きやガニアシを利用）



水槽での飼育イメージ

3. 海中試験

- 実施方法：漁業協同組合へ委託（青年部を想定）
- 実施場所：津軽海峡（養殖施設設置海域）
- 必要物品：円筒形の籠（※現場で導入が進んでいる円筒形籠を使用）
- エサ：配合餌料（海藻ペレット）
（飼育10週間でウニ1kgに対し1kgのエサが目安）
：天然餌料（養殖コンブの間引きやガニアシを利用）



円筒形の籠

4. 養殖試験に要するもの

(1) 前提条件

- ・1回の飼育期間は10週間とし、年3回実施する
- ・養殖1回につき、陸上800個、海中800個のウニを飼育し、それぞれで配合餌料と天然餌料を比較する
- ・1個当たり重量120gを目安とする

(2) 養殖に必要な物品等

- ・養殖1回につきウニ 1,600個
- ・ダイバー費用
- ・用船料
- ・配合餌料代、天然餌料代
- ・円筒形籠などの資材費 etc